

コ ー ス	生命と科学〈生命と法に関する判例〉 (Life & Science <Cases of Life & Law>)		
学年・期・単位	第1学年・後期・2単位	科目担当責任者	林田 丞太 (言語情報・人文科学講座 法学・准教授)
オフィスアワー	月、火、金：昼休みおよび放課後 (本部棟3階法学研究室)	メールアドレス	jotaro@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	医療を取り巻く社会状況を理解するために、判例演習をとおして、社会と医療との関わりを習得する。判例の検討により、医療に対する社会の見方、医療者の法的責任を具体的に理解し、法的な考え方、医療における安全性への配慮を習得する。さらに、小クラス内で議論を交わすなかで、自己の考えを正確に相手へ伝えるコミュニケーション能力を習得する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 判例演習の基本	判例とはどのようなものか、という基本的な内容を理解する。具体的には、裁判の流れ、判例として拘束力を持つ部分とそれ以外の区別、判例が社会に及ぼす影響、また学説が判例に及ぼす影響等を理解する。また、短く分りやすい判例を読み、疑問点を調べ、読み方を習得する。
2. 生命に関わる刑事判例	わが国における安楽死に関する代表的判例を順次読み、判例を通してわが国の安楽死に関する議論の流れを理解する。また、安楽死行為が犯罪とならない根拠について議論し、その妥当性を探る。
3. 生命に関わる民事判例	エホバの証人信者による輸血拒否に関する一連の判例、未熟児網膜症に関する一連の判例、および術中に新たに発見された病巣の摘出手術とインフォームドコンセントに関する判例を読み、それぞれの問題点を認識する。それを今後の医療にどのように活かすべきかを議論し、理解する。
4. 判例研究	各グループが選択した判例について、図書館の書物、インターネットを利用し、問題点の抽出や社会的影響等を調べる。当該判例を今後の医療にどのようにすれば、またどのような形で活かすことができるかという目的意識のもとに、発表向けに研究し、パワーポイントでまとめる。
5. 研究発表	各グループが作成したパワーポイントを用いて発表を行ない、質疑および応答により議論を深め、問題意識を共有し、その内容を理解する。
6. 食の安全と安心	ヒトは口から食物を摂取し、必要な栄養を獲得する。その食物は収穫前の生育時に多くは農業にさらされ、その後加工時と保存のために添加物が施される。その際の食物に対する安全性の概念を修得する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
随時、プリントおよび資料を配布します。		

参考書		
書名	著者名等	発行所
刑法判例百選Ⅰ、Ⅱ (別冊ジュリスト189,190)	西田典之、山口厚、佐伯仁志 / 編	有斐閣
民法判例百選Ⅰ、Ⅱ (別冊ジュリスト195,196)	中田裕康、潮見佳男、道垣内弘人 / 編	有斐閣
医事法判例百選 (別冊ジュリスト183)	宇都木伸、町野朔、平林勝政、甲斐克則 / 編	有斐閣
医療過誤判例百選 (別冊ジュリスト140)	唄孝一、宇都木伸、平林勝政 / 編	有斐閣

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ / 国試出題基準
1	9/6	判例演習の基本	裁判の流れ、判例の概要を説明できる。	講義形式により主要ポイントを板書き説明する。	林田丞太	必17-B
2	9/6		判例の読み方を説明できる。	短い判例を読み、説明や議論により疑問を解決する。	林田丞太	
3	9/13	生命に関わる刑事判例	安楽死に関する判例の流れを説明できる。	講義形式により主要ポイントを板書きし説明し、各自で判例を読む。	林田丞太	A-2-③、 B-1-1) 必 4-D-a,b、 総 (VI)13-A
4	9/13		安楽死行為が犯罪とならない根拠について、その妥当性を説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-2-③、 B-1-1) 必 4-D-a,b、 総 (VI)13-A
5	9/20	生命に関わる民事判例	エホバの証人信者による輸血拒否に関する一連の判例について、裁判所の対応および社会の対応を説明できる。	講義形式により主要ポイントを板書きし説明し、各自で判例を読む。	林田丞太	A-1-②、③、 A-3-③、 B-1-1) 必 1-B-a,b,c、 必 4-D-a,b、 必 5-A-a,b
6	9/20		個人の価値観と医療の目的との関係を探り、解決へ向けた具体的方策を説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-1-②、③、 A-3-③、 B-1-1) 必 1-B-a,b,c、 必 4-D-a,b、 必 5-A-a,b
7	9/27		未熟児網膜症に関する一連の判例について、医療水準の変化と裁判所の対応の流れを説明できる。	講義形式により主要ポイントを板書きし説明し、各自で判例を読む。	林田丞太	B-1-1) 必 4-D-a,b
8	9/27		裁判における医療水準をどこにおくべきかを説明できる。	討議を行う。	林田丞太	B-1-1) 必 4-D-a,b
9	10/4		術中に新たに発見された病巣の摘出手術とインフォームドコンセントに関する判例について裁判所の見解を説明できる。	講義形式により主要ポイントを板書きし説明し、各自で判例を読む。	林田丞太	A-3-④、 A-4-①②⑤、 B-1-1)、 必 1-B-a,b、 必 4-A-a,b,c、 必 4-D-a,b
10	10/4		インフォームドコンセントは誰の為に、どのように行なわれるべきかを説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-3-④、 A-4-①②⑤、 B-1-1)、 必 1-B-a,b、 必 4-A-a,b,c、 必 4-D-a,b
11	10/11	判例研究	1. 選択した判例の問題点を説明できる。 2. 問題解決の方策を考察できる。	LAN を使用し資料を検索する。 図書館で文献検索をする。グループ内討議し、パワーポイントでまとめる。	林田丞太	A-5-1),2)、 B-1-1) 必 4-B-a,b,e,f
12	10/11		調べ、考察した内容をパワーポイントでまとめることができる。	//	林田丞太	A-5-1),2)、 B-1-1) 必 4-B-a,b,e,f
13	10/18	研究発表	調べたことを発表できる。	PC を用いてグループ発表をする。	林田丞太	
14	10/18		//	//	林田丞太	
15	10/25	食の安全と安心	1. 食物に使われる農薬を列記できる。 2. 農薬の除去法を説明できる。	PC と資料を用いて講義する。	川瀬俊夫、 斉藤 勲 (招聘講師)	総 (II)-6-B-3-c,d

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ / 国試出題基準
16	10/25	安心 食の安全と	1. 食物に使われる農薬を列記できる。 2. 農薬の除去法を説明できる。	PC と資料を用いて講義する。	川瀬俊夫、 斉藤 勲 (招聘講師)	
17	11/1	判例 演習の 基本	裁判の流れ、判例の概要を説明できる。	講義形式により主要ポイントを 板書きし説明する。	林田丞太	必 17-B
18	11/1		判例の読み方を説明できる。	短い判例を読み、説明や議論に より疑問を解決する。	林田丞太	
19	11/8	生命に 関わる 刑事判 例	安楽死に関する判例の流れを説明できる。	講義形式により主要ポイントを 板書きし説明し、各自で判例を 読む。	林田丞太	A-2-③、 B-1-1) 必 4-D-a,b、 総 (VI)13-A
20	11/8		安楽死行為が犯罪とならない根拠について、その妥当性を説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-2-③、 B-1-1) 必 4-D-a,b、 総 (VI)13-A
21	11/15	生命に 関わる 民事判 例	エホバの証人信者による輸血拒否に関する一連の判例について、裁判所の対応および社会の対応を説明できる。	講義形式により主要ポイントを 板書きし説明し、各自で判例を 読む。	林田丞太	A-1-②、③、 A-3-③、 B-1-1) 必 1-B-a,b,c、 必 4-D-a,b、 必 5-A-a,b
22	11/15		個人の価値観と医療の目的との関係を探り、解決へ向けた具体的方策を説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-1-②、③、 A-3-③、 B-1-1) 必 1-B-a,b,c、 必 4-D-a,b、 必 5-A-a,b
23	11/22		未熟児網膜症に関する一連の判例について、医療水準の変化と裁判所の対応の流れを説明できる。	講義形式により主要ポイントを 板書きし説明し、各自で判例を 読む。	林田丞太	B-1-1) 必 4-D-a,b
24	11/22		裁判における医療水準をどこにおくべきかを説明できる。	討議を行う。	林田丞太	B-1-1) 必 4-D-a,b
25	11/29		術中に新たに発見された病巣の摘出手術とインフォームドコンセントに関する判例について裁判所の見解を説明できる。	講義形式により主要ポイントを 板書きし説明し、各自で判例を 読む。	林田丞太	A-3-④、 A-4-①②⑤、 B-1-1)、 必 1-B-a,b、 必 4-A-a,b,c、 必 4-D-a,b
26	11/29		インフォームドコンセントは誰の為に、どのように行なわれるべきかを説明できる。	討議を行う。	林田丞太	A-3-④、 A-4-①②⑤、 B-1-1)、 必 1-B-a,b、 必 4-A-a,b,c、 必 4-D-a,b
27	12/6	判例 研究	1. 選択した判例の問題点を説明できる。 2. 問題解決の方策を考察できる。	LAN を使用し資料を検索する。 図書館で文献検索をする。グ ループ内討議し、パワーポイン トでまとめる。	林田丞太	A-5-1),2)、B-1-1) 必 4-B-a,b,e,f
28	12/6		調べ、考察した内容をパワーポイントでまとめることができる。	//	林田丞太	A-5-1),2)、B-1-1) 必 4-B-a,b,e,f
29	12/13	研究 発表	調べたことを発表できる。	PC を用いてグループ発表をす る。	林田丞太	
30	12/13		//	//	林田丞太	